

HLAB自己分析ワークショップと大学生との 座談会イベント 企画



1. 活動時期 2024.4/20

高校3年 前田 紗希

2. 企画のきっかけ

高2の夏にこの団体のサマースクールに参加した後、自分の学校の生徒にその体験をおすそ分けしませんか？という企画のお誘いをいただいたこと。

3. 活動内容

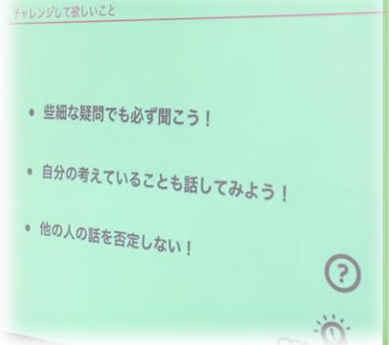
企画サイドとしては、ワークショップの内容を学校側に伝える企画書や宣伝のためのポスターの作成、外部団体と学校の橋渡し役などが主でした。決まった何かをやるのではなく、「自分が持ち込んだこの企画をいかに良くするするか」ということから何ができるのか主体的に考え、例えば先生と交渉し、学年集会で対象学年全員に宣伝するなどの活動を行いました。当日はワークショップ内で一部のコーナーを担当し、自分がサマースクールに参加して感じたことを参加者目線で発表しました。



4. 参加した感想

①参加する前と後の変化

これまで市川学園で生徒が主導してこのようなワークショップをやったことはなかったので、初めての試みとなり不安もありました。ですが、やり切った後は達成感と参加してくれた後輩への感謝でいっぱいになりました。また一口に企画と言っても様々なことをさせて頂く経験ができ、自分でできる事が増えて自信がつけました。



②活動中の面白かったポイント

自分が企画段階で、「このような対話をしてくれたら嬉しいな」と思っていたビジョンが実際にワークショップ内で行われていた時や、当日会場にポスターが貼られているのを見た時は、この企画を頑張って開催した意味を感じ、面白いなあ！と思いました。

③参加者の声

高2女子 現役大学生と関わる機会が自分は全然なかったので、生の声が聞けてよかった。マジでいい機会になりました！

高1男子 自分の希望する学部の先輩が多くてとても話が弾んだ。そして、意外と彼らも私と同じ悩みを抱えているのだと心を軽くすることができた。真剣に話を聞いてくれて嬉しかった。

5. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

課外活動の派生に限らず、やってみたい企画があったら「やってみたいです！」と先生に相談してみてください！学校には少し至らないところがあっても、本気でぶつかればあなたの企画を応援して下さる先生がたくさんいますよ！